**第３３回　中国中学校剣道選手権大会参加要項**

**１　選手の起用について**

　（１）　先鋒・次鋒・中堅・副将・大将とする。ただし、選手は３名以上であれば認める。

　　　　その時のオーダーは３名の場合は先鋒・中堅・大将、４名の場合は先鋒・中堅・副将・大将とする。

　（２）　補助選手の起用については、申込書に記載してある補員のみとし、起用は下記のとおりとする。

　　①　補員は事故者の位置とする。オーダーの変更と再出場は認めない。

　　②　選手の変更については大会前日の監督会議とする。

　　③　大会当日、選手に事故が生じた場合の選手変更については、監督が規定の「選手変更届」を大会本部に提出して認められた場合とする。

　　④　そのほかについては、専門委員長の申し合わせに準じる。

○　○　中

**岡**

**山**

**２　選手の名札（ゼッケン）について**

　（１）　出場選手の名札（ゼッケン）については、黒または紺地に白地の字体とし、

学校名、氏名を明記したものを使用すること。

　　　　＊同姓の選手がいるときは名前の頭文字を入れること。

　（２）　学校名は「○○中」と明記すること。（道場、スポ少などの名札は認めない。）

　（３）　規定の名札を使用しない場合は、出場を認めない。

**３　試合開始前後に注意すべき事項**

　（１）　選手入退場の際、選手監督は選手席に整列して、監督の指示で正面に「礼」をしてから着座ならびに退場する。

　（２）　選手は竹刀を肩に掛けないで手に持って入退場する。

　（３）　団体戦で「礼」をする場合、開始時は先鋒・次鋒、終了時は大将のみ面と小手をつけ、竹刀を持って横一列に並ぶ。

　（４）　正面の「礼」は個人・団体ともに、第一試合および決勝戦のみとする。

　（５）　選手は無言で相互の「礼」だけを行い、審判員や試合終了後の個人的な座礼などは行わないこと。

　（６）　選手交代の際には、余計な所作（胴突き・握手など）の行為は禁止する。

　（７）　試合者は、審判員が所定の位置につくまでは試合場に入ってはならない。

**４　試合中に注意すべき事項**

　（１）　試合中は選手・監督ともに先鋒と最後の試合者のときに、正座して観戦することが望ましい。

　（２）　試合規則の実施について疑義のある場合は、直ちに（次の試合が始まるまで）監督が監督旗を表示し、審判主任に対して異議を申し立てることができる。

　（３）　足袋、テーピング・サポーターの使用は原則認めないが、やむを得ず使用する場合は、あらかじめ審判主任に申し出て許可を得る。ただし、ゴム底・皮底のものは使用禁止とする。サポーターについては剣道用のみとする。

　（４）　審判員合議のときは、試合者は立ったまま納刀し、区画線まで下がり蹲踞して待つ。

　（５）　試合場内での時計の持ち込みは禁止とする。（腕時計は身につけない）

**５　竹刀について**

　（１）　竹刀の計量は岡山市総合文化体育館内で行う。

　　　　　　男子　　長さ　　　114cm以下　　　　　　重さ　　　　440g以上

　　　　　　女子　　長さ　　　114cm以下　　　　　　重さ　　　　400g以上

　　　　　　男女とも剣先の太さは先革をつけた状態で直径男子25mm以上・女子24mm以上であること。

　　　　　　竹刀の先革の長さは50mm以上とする。

　　　　　　不合格竹刀（修理等不可能）については大会終了時まで預かる。

　（２）　検印を受けた竹刀のみ使用することができる。検印を受けていない竹刀を使用した場合は不正竹刀の使用とみなす。

　（３）　鍔は直径9cm以内の革色（白色も可）のものを使用し、柄革の元で固定すること。

　（４）　中結の位置は、全長の四分の一のところに固定すること。

　（５）　柄革は滑り止めや模様等ない無地のもので白色とする。

　（６）　不正竹刀を使用した場合は、下記のとおり処理する。

　　　　①　団体、個人試合における不正竹刀使用者は、以後の試合に出場できない。

　　　　②　団体リーグ戦において、不正竹刀を使用した者は発見後の試合を負けとし、補員の出場を認めない。（決勝トーナメントより補員の出場を認める。）

（７）　不正竹刀とは次のものをいう。

　　　　①　異物を挿入した竹刀。（異物とは先革のゴム、柄頭のちぎり－鉄片－以外のすべてをいう。）

　　　　　 この場合検印の際、発見されても使用とみなす。

　　　　②　検印のない竹刀。

（８）　カーボン竹刀は許可する。

**６　剣道具等の着装について**

　（１）　面紐は結び目より40cm以内とし、小手紐はきちんと結ぶこと。

　（２）　胴紐は（短い方）は、花結び（蝶結び）とする。

　（３）　目印の長さは70cm、幅は5cmとする。

　（４）　お守りなどの付属品はつけない。

　（５）　剣道着・袴・面紐・胴紐は、黒・紺または白が望ましい。

　（６）　校名・校章等の刺繍（剣道着・袴）は、大きさ・色を含めて華美にならないように配慮する。

　（７）　面乳革は、黒・紺色で無地のものとする。

　（８）　面金を黒塗りにした面など、通常の配色でない面の使用を禁止する。

（９）　アイガードは許可する。

**７　監督について**

　（１）　服装は、白半袖カッターシャツ・ネクタイ・グレーズボン（スカート）とし、監督章をつける。

　（２）　監督は、試合者に対するサインなどの指示、声援を行わない。

　（３）　試合開始前・終了時の挨拶のときは、監督も起立の上、「礼」をする。

**８　練習会場について**

　　岡山市総合文化体育館

　　　８月８日（火）　13:30～16:00（メインアリーナ）

　　　　　９日（水）　 7:30～ 8:40（メインアリーナ・サブアリーナ）

　　　　　　　　　　 9:30～14:00（サブアリーナ）

**９　その他**

　（１）　試合場への出入りは監督・選手・役員のみとする。

　（２）　各校の校旗・部旗は会場に張らない。